

第 36 课

一、新维 重点词汇

さいしょ	(最初)	【名】	开始的时候, 最初
しゅっしん	(出身)	【名】	出生地
こうじょう	(工場)	【名】	工厂
おくじょう	(屋上)	【名】	屋顶上, 屋顶
しんせい	(申請)	【名】	申请
わらいごえ	(笑い声)	【名】	笑声
もちあるく	(持ち歩く)	【动 1】	携带、拿着走
くりかえす	(繰り返す)	【动 1】	反复
さわぐ	(騒ぐ)	【动 1】	吵嚷、吵闹
まにあう	(間に合う)	【动 1】	来得及, 赶得上
なく	(鳴く)	【动 1】	叫, 鸣, 啼
ねむる	(眠る)	【动 1】	睡觉
なる	(鳴る)	【动 1】	响起
よろこぶ	(喜ぶ)	【动 1】	喜悦、高兴
やくだつ	(役立つ)	【动 1】	有用, 有益
やとう	(雇う)	【动 1】	雇佣
なく	(泣く)	【动 1】	哭、哭泣
ふる	(振る)	【动 1】	挥动、摆动
みえる	(見える)	【动 2】	看到、看得见
きこえる	(聞こえる)	【动 2】	听到、听得见
つうじる	(通じる)	【动 2】	通过、相同
あげる	(揚げる)	【动 2】	放(风筝), 扬起
なれる	(慣れる)	【动 2】	习惯
ぬれる	(濡れる)	【动 2】	淋湿、打湿
やける	(焼ける)	【动 2】	着火、燃烧
さげる	(下げる)	【动 3】	降低、下降
しっばいする	(失敗する)	【动 3】	出岔子、失败
くろうする	(苦勞する)	【动 3】	辛苦、辛劳
びっくりする		【动 3】	吃惊、吓一跳
しゅっせきする	(出席する)	【动 3】	出席
かなしい	(悲しい)	【形 1】	悲伤、悲哀
ほんと		【形 2】	真的
とにかく		【副】	特别是、总之
まだまだ	(遠慮なく)	【副】	还、尚、仍

学习简报

新维外语

二、新维重点知识

第2页 《标准日语初级下册》

1. 新维 日语语法内容

① 小句て，小句【客观因果关系】

解：表示因为前项的契机发生了后项，因为表客观的因果关系，所以后项不能用“推测”“劝诱”“建议”“命令”“禁止”等表达形式。

接：动词て形\形1くて\形2名词で

例：☆ そのニュースを聞いて、びっくりしました。
☆ 用事があって、パーティーに行かなくて残念です。

② ～に\のに

接：名词+に\用言连体形+のに

解：1. 用途：某物品、设备、设施等用于特定目的，即用途。

例：A この本は日本のことを知るのに役に立ちます。(这本书对于了解日本很有用。)

B このファイルは書類の整理に使います。(这个文件夹用于整理存放文件。)

2. 基准：表示要实现前项的目的，后项最好、最便利、最有用。

例：A この部屋は静かで勉強するのにいいですよ。(这个房间很安静，很适合学习)

B ここは近くにスーパーがあって買い物に便利です

(这附近有便利店，买东西是很方便的。)

3. 补充：～に\のに～かかる/必要だ/要る

表示：要实现前项的话，后项是不可缺的必要条件，
后项多是需要耗费的人力、物力、金钱、时间。

例：このような大きな家を建てるのにどのくらいお金が必要ですか。

③ 名词ばかり+动词

「ばかり」接在名词后面表示尽是不理想的东西，体现出数量或者次数之多，“光～”“净～”

例：父が買ってきた豚肉は骨ばかりですね。(爸爸买回来的猪肉净是骨头。)

妻に捨てられてから、彼は毎日お酒ばかり飲んでいる(被妻子抛弃之后每天光喝酒。)

动词てばかりいる

解：表示一味的做某事，而这些事情对讲话人来说是不应该的，
反应出说话人语气消极，不满的情绪。

接：动词て形

例：甘いものを食べてばかりいて、体によくないよ。

(每天净吃甜食，对身体不好呀。)

乳は飲まなくなった赤ちゃんは泣いてばかりいた。

(刚出生的婴儿，每天净是哭。)

④ 动词简体形小句+のが見える\聞こえる

表示：看得见，映入眼帘的~或者听得到，传入耳中的~也就是非主观有意识的看或者听

例如：どこかピアノを弾いているのが聞こえますか
グラウンドで森さんが野球をしているのが見えます。

新维外语

【文化聚焦】茶道历史知多少

在鎌倉時代（かまくらじだい），荣西禅师从中国把制作抹茶（まっちゃ）的方法带回日本。于中国自宋代被人遗忘的抹茶，在异域逐渐发展、衍变，产生的一系列礼儀作法（さほう）被称为茶道。

室町時代（むろまちじだい）中期，幕府将军足利義満（あしかがよしみつ）的好友能阿弥（のうあみ）完成了書院茶的作法条例。書院茶流行于贵族之间，是一种极尽奢华的茶道。能阿弥的弟子村田珠光（むらたじゅこう）对这种浮华的作风不满，提倡将佛教「禅の精神」加入茶道中，并将茶道的场所缩小为四个半榻榻米（四畳半）。珠光死后，出生于富商之家的武野紹鷗（たけのじょうおう）用日本生产的普通陶器（日常雜器）取代了从中国输入的奢侈品「唐物」，确定了「詫び茶」（わびちゃ）即闲寂茶的作法。

之后，由于織田信長（おだのぶなが）实行「茶の湯御政道」（茶道政治），茶道在武士和大名中普及。茶道政治即用茶道礼仪款待立功将士，将「茶道具」分发给手下武将。信长死于本能寺之变后豊臣秀吉（とよとみひでよし）掌控了天下，主流茶道千家流的创始人千利休（せんのりきゅう）作为秀吉的茶頭确立了天下第一的地位，但在利休 70 岁的时候，由于触怒了秀吉而被命自杀。

利休死后，本家堺千家（さかいせんけ）的继承人长子千道安早逝，千家流本家断绝。利休养子千少庵继承其地位，之后是少庵的儿子千宗旦（せんそうたん），宗旦的三个儿子使千家流分为三个流派：

表千家（おもてせんけ） 不審庵 三男宗左

裏千家（うらせんけ） 今日庵 表千家より分派 四男宗室

武者小路千家（むしゃこうじせんけ） 官休庵 表千家より別派 二男宗守

到了德川时代，饮抹茶的习惯在民间流行，变成日本普通百姓的生活习惯。

「茶道」と云うのは単に茶碗を廻して、抹茶を飲むだけというものではなく、活け花、書道、茶室の設計、造園、料理、骨董の知識、それらを全て包含した総合芸術なのである。

茶道并不单单是转动茶碗，饮尽杯中抹茶。茶道艺术是集插花、书法、茶室建筑设计、庭院造型、怀石料理、古董鉴赏等为一体的综合艺术。

新維日語
新維外語